

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
268	268	遺家族等援護事業	01	01	一般会計
			03	03	民生費
基本施策	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	01	01	社会福祉費
			01	01	社会福祉総務費
担当部課名		青山支所健康福祉課	104	104	遺家族等援護事業
作成者氏名	奥田 充法	連絡先	52-3228	01	遺家族等援護事業
			細々目		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	遺族会及びその会員	会員の福祉の増進を支援し、会員相互の交流を図る					
本年度事業内容	青山遺族会へ事業費の補助金を交付します。青山地区戦没者慰霊祭に「御供」をします。						
します	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金交付交付規則

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	88	8	8
委託料			
その他	88	8	8
合計(A+B)	808	728	728
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	808	728	728
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
青山地区各地区慰霊祭御供	箇所数	4	4	4			
青山遺族会補助金	千円	88					

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
戦没者追悼式割り当て参加	遺族会活動状況を示す指標として設定しました。	%	100 目標 ( 100 )	100	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

遺族会は年々減少しつつも会員数は320人で、事業の継続は必要であり、事業の必要性や効果が低下したとは言えず会員の福祉増進など有効性は高く今後とも継続が必要である。

評価	必要性	4	遺族会会員の高齢化が進み、補助金支援のみでよいのか検討が必要である。また旧市町村単位で組織されていた「遺族会」の統一に関し、まだ少しの期間が必要で、各支所への事務担当の配置が必要である	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		